

女性活躍推進人材育成事業【諫早市】

地域の実情と課題

- ・本市では、男性従業員の占める割合が高いとされる製造業、建設業に従事する従業員の割合が高く、労働力を確保していくためにも女性の活躍は喫緊の課題となっている。
- ・女性活躍推進法に基づく事業主行動計画を策定した従業員300人以下の事業所は少なく、子育てサポート企業としてくるみん認定を受けた事業所も少ない中、県内で唯一プラチナくるみんの認定を本市企業が受けており、こうした取組を広げていく必要がある。
- ・県の労働条件等実態調査(H27)によると、県内企業の、男性の育児取得率は、全国平均より低く、本市でも同様の傾向がうかがえ、家庭での役割分担などの体制の構築や、男性向けの啓発講座の実施など、男性の育児休業取得やワークライフバランス推進の施策が求められている。

事業の特徴

- ・事業主行動計画の策定が努力義務である企業の経営者向けセミナーや、ワークライフバランスを自らのこととして考えるきっかけの場としての市民向けセミナーを開催し、女性活躍推進への理解を深めた。
- ・男性の育児休業取得の増加のため、ワークショップを開催し、楽しみながら子育てや家事参画する知識や技能の習得を図った。

事業の効果

- ・県が実施する一般事業主行動計画策定に係る説明会・個別相談会との連携により、企業の女性活躍の必要性と取組への理解が深まったことで、今後の女性活躍推進法に基づく事業主行動計画の策定数の増加が期待される。
- ・ワークショップで学んだ事を家庭でもやってみたいと受講者全員から回答を得、男性の家事参画の目的は達成された。

目的・目標

【目標】

- ・経営者向けセミナー参加事業所数 30事業所
- ・市民向けセミナー参加者の理解度70%以上
- ・再就職セミナー受講者数 15名
- ・男性の育児休業の取得に前向きになった人 50%以上

【実績】

- ・参加事業所数 39事業所
- ・参加者の女性活躍理解度 85%
- ・セミナー受講者数 4名
- ・育児休業の取得に前向きになった男性 75%

連携団体

諫早商工会議所、諫早中核工業団地自治振興会、諫早市男女共同参画推進団体、青年会議所、保育会、PTA連合会、地域子育て支援センター、看護協会、こどもの城等

今後の課題

- ・女性活躍には、男性の意識改革や固定的な社会通念や習慣の改善が必要であり、今後も市民の意識改革をとおして、女性の社会進出や管理職登用など、活躍推進につなげていく必要がある。
- ・男性が楽しみながら子育てや家事を行うための知識や技能は多岐に渡っており、ワークライフバランスや女性の活躍推進を後押しするための様々な支援が必要である。

事業の概要

(1) 企業経営者向け女性活躍推進セミナー

◇一般事業主行動計画の策定が努力義務である企業を対象とし、行動計画の策定に繋げるため、女性活躍の必要性と理解を深めるセミナーを開催

<1回目>

- ・開催日：平成29年9月14日
- ・講師：長崎労働局雇用環境・均等室長
- ・参加者：諫早商工会議所女性会会員ほか

<2回目>

- 平成29年11月22日
- (株)ジェピック(代)石丸純子氏
- 諫早中核工業団地自治振興会



(2) 市民向け女性活躍推進セミナー

◇女性活躍を推進する上では、市民一人ひとりがワークライフバランスを理解することが必要であり、自らのこととして考えるきっかけの場としてセミナーを開催

- ・対象：一般市民
- ・開催日：平成29年12月23日
- ・講師：水無田気流氏
- ・参加者：130人



(3) 女性の再就職セミナー

◇結婚・育児・介護などの事情により離職した女性に必要な知識・技能を習得するセミナーを開催

- ・開催日：平成29年10月10日～26日
- ・内容：就活の流れと応募先探しのコツ、履歴書のコツ、自分を魅力的に見せるコツ、面接のコツ、パソコン講座



(4) イクメンワークショップ

◇女性が離職することなく仕事を続けるために、男性の育児休業取得の増加や、楽しみながら子育てや家事を行うための知識や技能の習得支援のため、親子参加の講座を開催

- ・開催日：平成29年10月15日・29日・11月12日（3回）
- ・内容：父子(おやこ)チャレンジ①親子丼づくり②皮から餃子づくり③片付けで子どもの夢を叶える部屋づくり

